

2002.04.20

## 自閉症は自閉症 ～高機能であれ低機能であれ～

京都市児童福祉センター 門 眞一郎

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/atoz3/kado/index.htm>

### 1. 自閉症スペクトラム(広汎性発達障害, 広義の自閉症)とは？

理解力(認知)の発達に関して, 独特の「**偏り**」と, 多くは「**遅れ**」もみせる発達障害の1つである。決して情緒障害ではない。自閉症スペクトラムの人は, 自分と自分のまわりの世界, 特に対人関係に関係すること(ルールや他者の心の内など)をうまく理解できなかつたり, 通常(多数派)の理解の仕方とは異なる独特の理解の仕方をしたりする。

かつては親の性格や子育ての仕方が原因で発症する情緒障害だとか, 乳幼児期に発症する精神分裂病であるなどと言われたことがあるが, こういう考え方が誤りであることは, すでに30年前に明らかになっている。親, 特に母親の子育ての失敗が原因ではない。逆に, 自閉症の子どもを育てることは大変な仕事であるために, 親の方がまいてしまい, 上手な子育てができなくなる(原因と結果の関係が逆)ということはある。母親はその点で被害者ではあっても決して加害者ではない。

#### 高機能自閉症スペクトラム(高機能広汎性発達障害)

高機能=IQが正常範囲内, あるいはそれ以上(IQ70-75以上)

**高機能自閉症**は, 知能水準が正常範囲内以上(IQ70-75以上)の自閉症(狭義の)。

**アスペルガー症候群**は, 高機能で, しかも言葉を話す力(音声言語表出面)の発達にはほぼ遅れのない広汎性発達障害。ただし, 対人的な場面での言葉の理解力(音声言語受容面)や表現には多かれ少なかれ問題がある。

#### 共通特徴(3主徴):

##### 1) 対人関係の発達の偏りと遅れ

- まわりの人との関係がつきにくく, 視線も合いにくい。人と交わるのを嫌がるとか恥ずかしがるというよりも, 人に興味がないように見える。取って欲しい物があるときだけ, 大人の手首を持って, 相手の顔も見ずに引っ張って行く。他の子どもが遊んでいてもあまり興味を示さない。
- アスペルガー症候群の人の多くは一所懸命人と交わろうとするし, 人と接触することが嫌いではない。しかし顔の表情も含め, ことば以外のシグナルを理解することが困難である。

##### 2) コミュニケーションの発達の偏りと遅れ

- とくに話し言葉(音声言語)の発達の問題が大きい。満1歳頃に出始める言葉がなかなか出なかつたり, 始めてもなかなか増えない。おうむ返しの言葉が多く, 長い間続く。言葉を聞いて理解することが特に難しく, 名前を呼んでも反応がない。そのために耳が聞こえないのではないかと思わることもある。話し言葉以外のコミュニケーション手段, たとえば身ぶりや表情などを理解し適切に用いることも困難。
- アスペルガー症候群の人はとても流暢にしゃべることがあるが, 聞き手の反応にあまり注意を払わない。聞き手の気持ちにお構いなしに次々と話し続けたり質問し続けたりする。また, ことばを正確に解釈しすぎたり, 字義どおりに解釈しすぎたりすることがあり, 誇張表現や比喩と同様に冗談も問題を引き起こすことがある。

### 3) 反復常同行動を伴う想像力の発達の偏りと遅れ

- 想像力が必要なふり遊びやごっこ遊びができない。おもちゃもその本来の機能に見合った使い方をせず、感覚刺激を得ることに没頭したりする。また、人の心の内を推測することが難しい。独特の強いこだわり(興味の著しい偏りや儀式的反復的常同的行動)がある。子どもによってこだわりの対象はいろいろ。例えば、同じ所には同じ道順でしか行こうとしない。物を決まった位置にしか置こうとしない。どこに行くにも絶対に手放さない物がある。物ごとの順序が厳密に決まっている。小さい頃からマークや記号・アルファベット・数字に興味をもつ。テレビのコマーシャルや天気予報、ビデオの特定の場面だけがすごく好きだったりする。
- アスペルガー症候群の人は、しばしば事実や数字といったことの習得は上手だが、抽象的な思考は苦手である。なかには趣味や収集活動にほとんど強迫的ともいえる打ち込み方をする人もいる。興味の対象としては、コンピューターや鉄道関係のことが割合多い。

## 2. 自閉症スペクトラムと精神遅滞(知的障害)とはどう違うのか？

自閉症スペクトラムは精神発達の偏り、精神遅滞は精神発達の遅れが特徴的である。だから、自閉症と精神遅滞とは相いれないものではなく、同じ子どもが両方の障害を抱えていることも少なくない。すなわち、狭義の自閉症の人の2/3ないし3/4は、同時に精神遅滞でもある。

## 3. 自閉症の子どもはどれくらいいるのか？

- 狭義の自閉症は、従来子ども1万人につき約3人という有病率だった。1980年代後半から、1万人に10～20人とする報告が増えてきた。
- Bairdらの報告では、自閉症は1万人に30.8人(アスペルガー症候群も含む)、自閉症スペクトラムは57.9人。
- Gillbergの調査では、1万人中アスペルガー症候群:36人;Wingの調査では、自閉症(知的障害のある):22人;両者を併せると自閉症スペクトラムは少なくとも58人。
- 英国自閉症協会はもっと広くとって91人としている。1万人に91人とすると、人口の0.91%ということになる。
- 1万人に60人とすると自閉症スペクトラムの人は、  
平成12年千葉県人口5,864,098人中 35,185人、出生児55,319人中 332人

## 4. 周辺の発達障害との位置関係

### ● 学習障害 LD:

文部省の調査研究協力者会議報告(1999)

「学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。」

学習障害は、医学用語ではなく、教育用語である(この点では、情緒障害も同様)。

### ● 多動性障害(あるいは注意欠陥/多動性障害 AD/HD):

学習障害の20～25%が注意欠陥/多動性障害との報告がある。

多動性障害(or 注意欠陥/多動性障害)があれば、授業に集中することが困難なため学業不振になりやすいし、AD/HDの40～60%には特異的読字障害もあるのでそのために学習障害となる。

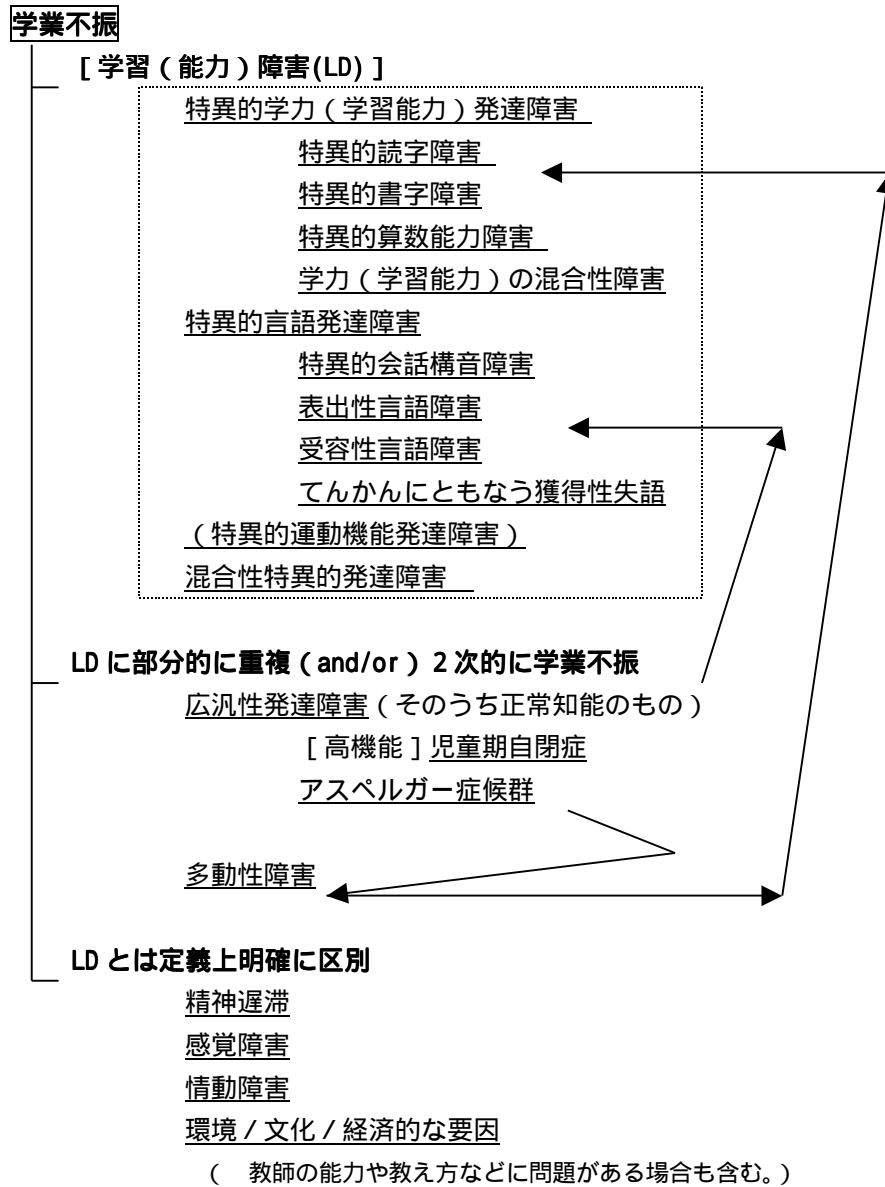
### ● 自閉症スペクトラム(広汎性発達障害):

このうち、高機能自閉症/アスペルガー症候群では、知的障害がなく、言語の理解や対人的使用に発達障害があるので、その点では学習障害と共通する。しかし、それだけにとどまらず、さらに対人関係の発達障害、常同固執的行動、感覚異常などもあるので、学習障害だけの場合よりも集団不適応をきた

しやすい。したがって、学習障害とだけ診断されたのでは必要な対応を見過ごされるおそれがある。  
 アスペルガー症候群の6人に1人はAD/HDでもある。

「学習障害」の医学診断分類上の位置づけ (ICD-10に基づく)

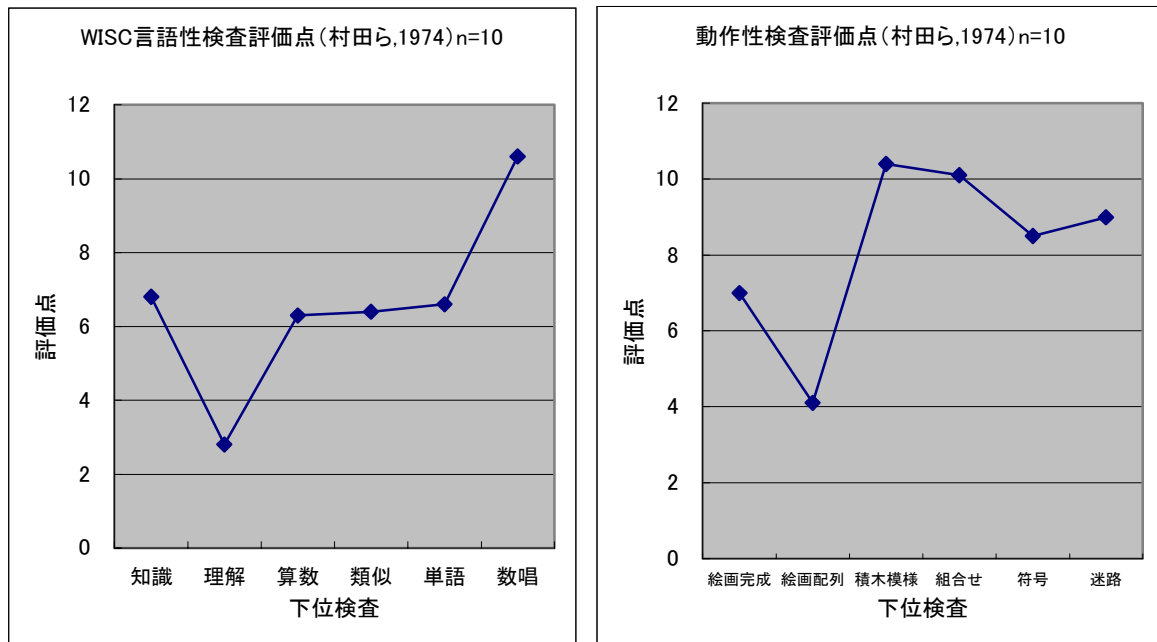
(下線部が ICD-10 : WHO の国際疾病分類第 10 版にある診断名 ; [ ] 内の語は筆者が補ったものであり , ICD-10 の中にはない。また「特定不能の」や、「その他の」が付く診断名は省略した。点線枠内がLDに相当する。)



## 6. 自閉症の人の理解(認知)の特徴(視覚的構造化の理論的根拠)

### 1) 百聞は一見に如かず

- WISC や WAIS の知能検査では、自閉症の場合、一般に動作性知能の方が言語性知能より高い(Rutter, 1966; Rutter & Lockyer, 1969; Prior, 1979)。 (→話し言葉によるコミュニケーションは不利)
- 話し言葉のスキルや継時的処理のスキルを必要とする課題の成績が良くない(Rutter, 1983)。
- アスペルガー症候群の場合、言語性知能指数の方が動作性のそれより高く出ることがある。記憶データの量で稼げる知識問題や単語問題、意味理解のいらぬ数唱問題の成績がよい場合である。



- 経験者(高機能自閉症/アスペルガー症候群の人)は語る:

テンブル・グランディン:『自閉症の才能開発』(学習研究社) (T. Grandin: Thinking in Pictures)

「私は画像で考えるのです。言葉は私にはまるで第2言語のようなものです。私は話し言葉や書き言葉を、音声つきのカラー映画に翻訳するのです。ちょうど頭の中でビデオテープを再生するような感じです。」(拙訳)

グニラ・ガーランド:『ずっと「普通」になりたかった。』(花風社)

「私の場合、言葉で説明を聞いても、頭の中で絵にならなければ、どこかへ飛んで行ってしまふ。あるいは、単に言葉としてだけ意識に残り、“構造の面白さ”や“語感”を味わうだけで終わってしまう。」

ウェンディ・ローソン:『私の障害、私の個性。』(花風社)

「自閉症の人々とコミュニケーションをとるのは、簡単なことではない。ことに、知的障害も重複している人が相手なら、なおさらだろう。でも、私はこう考えている。私たちは単に、ほかの人たちとは別の地平に立ってコミュニケーションしようとしているだけなのだ。だから、そのことにさえ気づいてしまえば、互いにわかり合うための手だては、工夫できるのではないだろうか。」

私にとっては、書きことばの方が、話しことばよりもずっとわかりやすい。音声の会話を消化して、それぞれの単語にくっついている意味を理解しようと思ったら、ページに印刷してあることばを目で追っていくよりもはるかに時間がかかる。

きっとこれは、人との会話だと、ことばを聞くほかに、相手の顔の表情も解読しなければならないし、ボディ・ランゲージも研究しなくてはならないせいだと思う。」

☆聴覚情報中心のコミュニケーションよりも(あるいはそれを補強するために)、**視覚情報によるコミュニケーションが重要**(きわめて視覚優位！)。

## 2) 木を見て森を見ず(森よりも木を見るほうが得意)

- フリス(Frith, U.)は自閉症の認知面の強みと弱みの原因は、さまざまなレベルの情報の統合の特殊な不均衡状態であるとした。
- 正常な情報処理過程は、さまざまな情報を集めてコンテキスト(文脈・脈絡・状況)の中でより高水準の意味を作り上げる傾向性(フリスの表現では求心的統合 central coherence)が特徴。これが自閉症では弱い。
  - ◆ WISC-R の積木模様課題の成績良好(Shah & Frith, 1993)。
  - ◆ WISC-R の絵画配列課題の成績不良。

☆全体的脈絡(コンテキスト)に依存しない特性が短所ともなれば長所ともなる。

構造(状況の意味)理解の妨げとなる場合には、構造を視覚的に明確にする必要がある。構造(コンテキスト)のシフトが容易になるように。

☆フリス「自閉症の人は部分的な情報に注意を向ける必要のある課題、つまり断片的な処理過程の必要な課題は得意で、全体的な意味の理解を必要とする課題は不得意である」

――>全体的意味理解を助ける構造化が必要

☆求心性統合が弱いことが強みになる状況がある。全体に惑わされないこと、細部に強迫的などが課題の種類によっては有利に働く。

――>全体的意味理解を必要としない仕事が有利

## 7. 構造明確化や視覚化でコミュニケーションを補強する

- ・構造とは、状況の意味や見通しであり、それを理解しやすくするのが構造(明確)化である。構造(明確)化や視覚化はコミュニケーションを改善する。
- ・構造化することで、特にメッセージの重要な構成要素である「いつ」「どこで」「なにを」「どれだけ」「どんなやり方で」「いつまで(おわり)」「終わったら次はどうなる」などを理解できるようにする。
- ・構造(明確)化の目的(効果)
  - 場面を理解を助け、見通しが持てるようになる。
  - 不安や混乱を防ぎ、安心して落ちついて行動できるようになる。
  - 効率的な学習を助ける(情報処理や注意集中を助ける)
  - できるだけ「自立」して生活するための補助具となる。
  - 行動を自己コントロールするための方法となる。
- ・周囲の者からの表出(子ども側の理解):視覚化やルーティン化による構造明確化
- ・子どもからの表出(周囲の者の理解):視覚化による意思明確化
  - e.g. 物、絵・写真、文字によるコミュニケーション・ブックやボード

## 8. 高機能自閉症/アスペルガー症候群の生徒について学校で特に配慮していただきたいこと

- 1)相手の人の心のうちが読めないために自分の関心事を一方的に話したりすることがあり、そのために周囲から勝手なやつだと思われトラブルになることがあります。そのような場合には、相手の気持ちや立場など丁寧に教えて行く必要があります。

- 2) 言葉は普通にしゃべれますし、単語の知識も普通にありますが、言葉を聞いて理解することは不得手です。理解が十分でないとき、話だけでは通じにくい時は、要点を書いて説明すると理解の助けになります。
- 3) 自分なりの基準で不当なこと不公平なことに対してこだわります。そのために興奮してパニック状態になることもあります。叱りつけて落ち着かせようとするとかえって興奮し、逆効果です。努めて冷静に穏やかに諄々と説く方が早く落ち着くと思います。感情をこめないで事務的に話す方がよいようです。
- 4) 興奮したときは、静かで人のいない部屋に速やかに誘導して上述の2) ,3) にのっとり落ち着かせるのも一法です。
- 5) かつての不公平感など不満やいじめられ体験が何かのきっかけで突然よみがえることもあり、そのために興奮パニック状態になるかもしれません。その時は上記3) や4) で対応して下さい。
- 6) これまでに本人が不当な思いを抱いた生徒とは同じクラスにならないようにしてほしいです。
- 7) 予定の突然の変更を言葉だけで伝えられるとうまく飲み込めず混乱してパニック状態になるかもしれません。なるべく突然の変更はしないようにし、どうしても避けられなければ文字で書いて示してあげると納得しやすいと思います。

総じて<コミュニケーションの方法の改良と力の向上>が重要

**※視覚的手がかりを使ってのコミュニケーションは言葉の発達を妨げることはなく、むしろ促す！**

## 9. おわりに

☆構造化をはじめとして自閉症の人への関わり方は、ひとりひとりに応じて工夫する必要がある。すなわち**個別化** (十人十色; 人を見て法を説け)。しかしこれは画一化の反対語であり、決して集団での活動を否定するものではない。

☆自閉症の人を、構造が明確化されておらずコミュニケーションが成立しない環境に置くことは、**心理的虐待**に他ならない。

「虐待を受けた子どもは、いつ襲われるとも予測できない体罰や叱責、怒号の中で生活してきている。毎日が一定のリズムで進行し、安心でき、世話をしてくれる大人の言動が予測できると実感することは、それ自体治療的である。」

(厚生省版「子ども虐待対応の手引き—改訂版」有斐閣 P.108)

## 自閉症についての情報

### 書籍

#### \* 自閉症についてのガイドブック

「自閉症スペクトルー親と専門家のためのガイドブッカー」 L. ウィング 著, 東京書籍 ¥2,400

英国の児童精神科医で, 自身も自閉症の子どもを持つ著者によって書かれた詳細なガイドブック。新しい臨床的・学問的な内容も豊富で, 内容は実際的で役に立つ。

「自閉症の人のライフサポート」 梅永雄二 編著, 福村出版 ¥2,400

自閉症の人に初めて接した保育士, 学校の先生, 施設の指導員, そして保護者に対して, 自閉症という障害の理解から始まり, どのような支援を行えば自立・社会参加につなげていくことができるかまでが分かりやすく書かれている。

「自閉症入門ー親のためのガイドブッカー」 S. パロン=コーエン, P. ボルトン 著, 中央法規 ¥1,854

親のために書かれた入門書だが, 幅広くいろいろな情報が含まれている。

「子どものためのバリアフリーブック 障害を知る本⑦自閉症の子どもたち」 茂木俊彦 監修, 大月書店 ¥1,800

絵や写真を豊富に使って, 分かりやすく解説してある。初めて自閉症のことを知るために良い本。

#### \* TEACCH(ティーチ)プログラムについての本

「自閉症の人たちを支援するということーTEACCHプログラム新世紀へー」 G. メジボフ著 朝日新聞厚生文化事業団 ¥800

TEACCHプログラムの最高責任者メジボフがプログラムの全貌を説明。自閉症及びTEACCHプログラム理解のための最良の書。絵や写真もたくさんあって分かりやすい。書店にはないので, 朝日新聞厚生文化事業団に申し込む(TEL 06-6201-8008)。

「自閉症のひとたちへの援助システムーTEACCHを日本で生かすにはー」 藤村出, 服巻智子, 他著, 朝日新聞厚生文化事業団 ¥500

TEACCHプログラムの構造化やコミュニケーション指導, 余暇活動の援助などについて, 絵や写真入りで分かりやすく書かれている。実践を始めようと思っている家族や学校の先生などにお勧めの本。同じく, 書店にはないので, 朝日新聞厚生文化事業団に申し込む(TEL 06-6201-8008)。

「自閉症療育ハンドブッカーTEACCHプログラムに学ぶー」 佐々木正美 著, 学習研究社 ¥2,400

日本にTEACCHプログラムを紹介した著者によって, TEACCHプログラムの理念やアプローチについて書かれた本。著者自身のされた自閉症児のその後についての調査結果も載っている。

#### \* その他

「はじめの一步 VISUAL メッセージライブラリー⑥」 新澤伸子 著, 横浜やまびこの里発行 ¥500

横浜やまびこの里が行なった「自閉症セミナー」の講演録を冊子にしたもの。自閉症の子どもへの援助についての考え方や具体的な方法が書かれている。写真入り。書店にはないので, 横浜やまびこの里に申し込む(TEL:045-943-9220 FAX:045-943-9228)。

「青年期・成人期自閉症の理解とその援助」 日本自閉症協会京都府支部発行 ¥2,000

書店にはないので直接申し込む, 郵便かファックスで(申込先:西松栄子 〒606-8333 京都市左京区岡崎法勝寺町  
82 FAX:075-771-9065)

「レイルマンー自閉症文化への道しるべ」奥平綾子 OMEMEDO発行 ¥1,500

自閉症の子ダダを取り巻く人たちの自閉症文化への旅。「光とともに」の作者である漫画家の戸部けいこ氏が表紙を  
描いている。書店にはない。

申込先:OMEMEDO(奥平) FAX:0795-94-3338 e-mail:YIU31284@nifty.ne.jp

#### \* マンガ

「光とともに」 戸部けいこ 著, 秋田書店 ¥800

自閉症児を持つ親の子育てを見事に描いています。自閉症の障害についてもよく書かれており, 対応についても理解  
できるお奨めのマンガ。

「あしたはきっと晴れ」 あらみなおこ 著, 桂書房 ¥1,200

自閉症の子どもを持つ母親が, 我が子との涙と笑いに溢れた生活を描いたマンガ。

#### インターネット・ホームページ

##### \* 日本自閉症協会京都府支部(ASK)

<http://web.Kyoto-inet.or.jp/org/atoz3/ask/>

支部が開催したセミナー等の講演録, T E A C C Hのホームページからの翻訳, 自閉症理解のためのパンフ,  
自閉症の人たちの作品集, ブックリストなどいろんな情報がある。自閉症関係の他のホームページにもリンク  
している。

##### \* ニュースレターSHAREのインターネット版(日本自閉症協会愛知支部発行)

<http://www.nucl.Nagoya-u.ac.jp/~taco/aut-soc/share/>

##### \* ダダ父通信

<http://www.nucl.nagoya-u.ac.jp/~taco/dada/>



## 高機能自閉症・アスペルガー症候群についての情報

### 書籍

#### \* 自閉症についてのガイドブック

「アスペルガー症候群－親と専門家のためのガイドブッカー」 トニー・アトウッド 著, 東京書籍 ¥2,800  
アスペルガー症候群の子どもたちに対する具体的な指導法が豊富にかかっている。

「自閉症－成人期にむけての準備－能力の高い自閉症の人を中心に」 パトリシア・ハウリン 著, ぶどう社 ¥2,700  
大人の自閉症の人に焦点を当て、小さいときから成人期に向けてどのようなことをしていけばよいのかということや、具体的なエピソードをたくさん取り上げ、〈社会性〉, 〈コミュニケーション〉, 〈こだわり〉のそれぞれの領域の問題にどのように対処したらよいか具体的に書かれている。

#### \* 自閉症の人によって書かれた手記 (自閉症の人がまわりの世界をどのように理解しているのかなどが書かれていて興味深く、自閉症の人の世界を知るために大変役に立つ。)

「自閉症の才能開発－自閉症と天才をつなぐ環－」 テンプル・グランディン 著, 学習研究社 ¥2,500

「我, 自閉症に生まれて」 テンプル・グランディン&マーガレット・スカリアノ 著, 学習研究社 ¥2,400

「自閉症だったわたしへ」, 「こころという名の贈り物－続・自閉症だったわたしへ」 ドナ・ウィリアムズ 著, 新潮社  
2000円 (新潮文庫版 ¥820, ¥860もある)

「ずっと『普通』になりたかった。」 グニラ・ガーランド 著, 花風社 ¥1,700

「私の障害、私の個性。」 ウェンディ・ローソン 著, 花風社 ¥1,600

「変光星」 森口奈緒美 著, 飛鳥新社 ¥1,700

「平行線－ある自閉症者の青年期の回想」 森口奈緒美 著, ブレーン出版 ¥2,800

「この星のぬくもり」 曹野奮美子 著, ベネッセコーポレーション ¥680 (「変光星」のマンガ版。)

「ぼくのアスペルガー症候群」 ケネス・ホール 著, 東京書籍 ¥1,300

#### \* その他

「社会性とコミュニケーションを育てる『自閉症療育』」 キャスリーン・アン・ウィル 著, 松柏社 ¥4,000

コミュニケーションや社会性をどう教えていくのかについて、自閉症の特性を踏まえた上での具体的な方法や考え方が書かれている。この中で、キャロル・グレイがソーシャル・ストーリーについても書いている。

「困ったとき事典」 森正人 著, こころリソースブック出版会 ¥1,000

困ったときにはどう対処したらいいのかが、子どもに分かりやすいマンガで書かれている。書店にはないので直接申し込む (TEL 087-844-8232; FAX 087-844-8233)

「子どものマナー図鑑① ふだんのせいかつのマナー」 峯村良子 作・絵 偕成社 ¥1,500

「子どものマナー図鑑② 食事のマナー」 峯村良子 作・絵 偕成社 ¥1,500

「子どものマナー図鑑③ でかけるときのマナー」 峯村良子 作・絵 偕成社 ¥1,500

「子どものマナー図鑑④ おつきあいのマナー」 峯村良子 作・絵 偕成社 ¥1,500

「子どものマナー図鑑⑤ 12か月・行事のマナー」 峯村良子 作・絵 偕成社 ¥1,500